

平成19年度 鴻巣市立中学校生徒海外派遣



国際社会に対応できる人材の育成を目的に、7月22日から27日までの6日間、オーストラリアのボーカムヒルズ市（シドニーから北西約30km）を訪問しました。ジェームズブルズ農業高校の授業への参加や、各家庭でのホームステイを通し、日本とは異なった文化や習慣を学びました。生徒たちが滞在で得た貴重な体験は、各学校の海外派遣事業報告会で多くの皆さんに伝えていく予定です。

海外派遣の感想

派遣団長 山田芳久 教育部長

短い期間ではありましたが、ホームステイや学校訪問での授業参加等、今回の様々な体験が子どもたちにとって何にも代え難い生涯の宝となったと確信しています。子どもたちの話や感想文を読ませてもらいますと、言葉の壁を自ら乗り越えた自信やコミュニケーションを図る上での大切さは、単なる英会話能力ではなく、その根底をなす表現力や心であることを実感し、人間として一回りも二回りも大きく成長したようです。

団長として一番の喜びは、引率の先生方と18人の生徒たちの素晴らしい努力により、こうした子どもたちの成長を肌で感じることができ、また全員が無事に帰国したこと。今回の体験が今後の長い人生の中で生かされることを願っています。

平田智昭（鴻巣中学校）

英語は単なる教養ではなく、大いに可能性を秘めた実用的な言葉に変わりました。

木村さつき（鴻巣中学校）

オーストラリアの風習等もすべて、とても有意義な時を過ごすことができました。

遠藤規子（鴻巣中学校）

特にジェームズブルズ農業高校で



ホストファミリーと対面

の生活は、とても貴重なものとなりました。

関 直人（鴻巣北中学校）

日本しか知らなかった私は、今回の海外派遣で世界の広さを学ぶことができました。

須永将梧（鴻巣北中学校）

オーストラリアの文化は、日本とは明らかに違い、初めて外国というものを理解したような気がしました。

市川実歩（鴻巣西中学校）

コミュニケーションの大切さ等、様々な人に会い多くの事を学ぶことができました。

星野 彩（鴻巣西中学校）

多くのことを学ぶことができました。その一つが、「自由と目標をも

つことこそ人を育てる」ということです。

新島さおり（鴻巣南中学校）

一瞬一瞬が無駄にできないと頑張っていたけれど、最後は自然体で多くのことを学ぶことができました。

金子梓沙（鴻巣南中学校）

言葉が通じなくても、相手を思う気持ちを見せてくれたホストファミリーに感謝しています。

三浦友依子（赤見台中学校）

たくさんの人たちと触れ合い、たくさんを感じ、学び、毎日充実した日々を送ることができました。

佐竹 亮（赤見台中学校）

訪問した学校は、オーストラリアトップの学力ということもあって、日本語が上手く驚きました。



訪問校での英語の授業

浅井 桃（赤見台中学校）

短い期間でしたが、貴重な体験をすることができました。私にとって一生忘れられない思い出です。

朝日菜緒（吹上中学校）

言葉がうまく伝わらない中での生活は大変で、悔しい思いもしましたが、新しい目標もできました。

戸崎沙也夏（吹上中学校）

初めてのホームステイや現地校参加。色々な人たちと友達になり、英語を話すよい機会になりました。

漆原 聡（吹上北中学校）

一番印象に残ったことは、現地の高校生が意外と多くの日本語を知っていたことです。

野村千昭（吹上北中学校）

一番の思い出は、初日に学校を間違えたことです。この思い出を含めて、旅のすべての思い出が一生の宝です。

石渡知里（川里中学校）

ホストファミリーや中国からの留学生ともたくさん話すことができました。今後は、英語をもっと勉強していきたいです。

武藤理紗（川里中学校）

会話をしているも単語を並べただけの会話になってしまいました。この経験をばねに今後の進路に役立てたいです。

問い合わせ / 学校はつらつ課指導担当（内線72537）

12月1日～14日まで 冬の交通事故防止運動を実施

「みんなで進める交通安全」をスローガンに、交通事故防止運動を実施します。一人ひとりが交通ルールを遵守し、交通事故を起こさないように気をつけましょう。

飲酒運転の根絶

・飲酒運転は犯罪です。飲酒を伴う会合などには、車を運転していかなないようにしましょう。

・「しない、させない、許さない」を合い言葉に、家庭・職場・地域では、車を運転する人には酒類を出さないようにしましょう。

・お酒を飲み自転車運転すること、も違反になるので、絶対にやめましょう。

早めのライト点灯と安全車間距離の保持

・ドライバーの皆さんは早めにライトを点灯し、周囲に気を配り、スピードを抑えて運転しましょう。

・交通事故の約3割は追突事故です。走行速度や停止距離を意識し、安全な車間距離を保持しましょう。

・地域では、交通安全教育などを通じて、早めのライト点灯や車間距離保持の重要性を呼びかけましょう。

歩行中・自転車乗用の交通事故防止

・歩行者や自転車利用者は、夕暮れ時と夜間は自分が見落とされること

を十分に意識し、明るい色の服装や反射材の着用を心がけましょう。また、自転車は必ずライトを点灯しましょう。

・歩行中、車の直前直後の横断や斜め横断は危険です。道路を横断する時は安全を確認し、横断歩道を渡りましょう。

・自転車乗用の交通事故のうち、約9割は自転車側にも違反があります。交通ルールの遵守とマナーの向上に努めましょう。また、通行可能な歩道では歩行者を優先しましょう。

問い合わせ / くらし支援課生活交通担当（内線2474）

